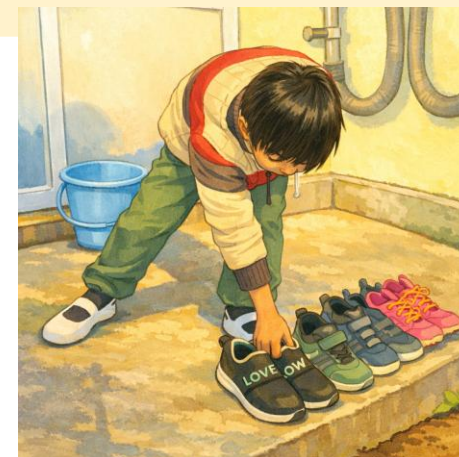


研究推進グループ 研究推進チーム

今年度の学校研究について



1. 本校の学校研究について【研究の目的】

「資質・能力の三つの柱を踏まえた、**各教科**の授業づくり」

見方・考え方を意識した教科指導の充実

〈令和5年度から始まった3年間の研究の3年目〉



国語、算数数学、理科、社会、
生活科、職業、家庭科

の中から、学年で一つ教科を
選択し、授業実践を行いました。

1. 本校の学校研究について【研究の目的】

「資質・能力の三つの柱を踏まえた、各教科の授業づくり」

見方・考え方を意識した教科指導の充実

〈令和5年度から始まった3年間の研究の3年目〉

令和5年度

3観点の目標や評価を踏まえた、授業の計画について**イメージ**する。

令和6年度

3観点をバランスよく取り入れた**単元を計画し、評価**する。

令和7年度

単元計画、観点別での適切な評価を、
見方・考え方を働かせた授業づくりにつなげる。

1. 本校の学校研究について【研究の方法】



全教員が研修に参加できるようにするため、
小集団で授業づくりを進めました。
(各学年または各課程で1グループずつ実践)

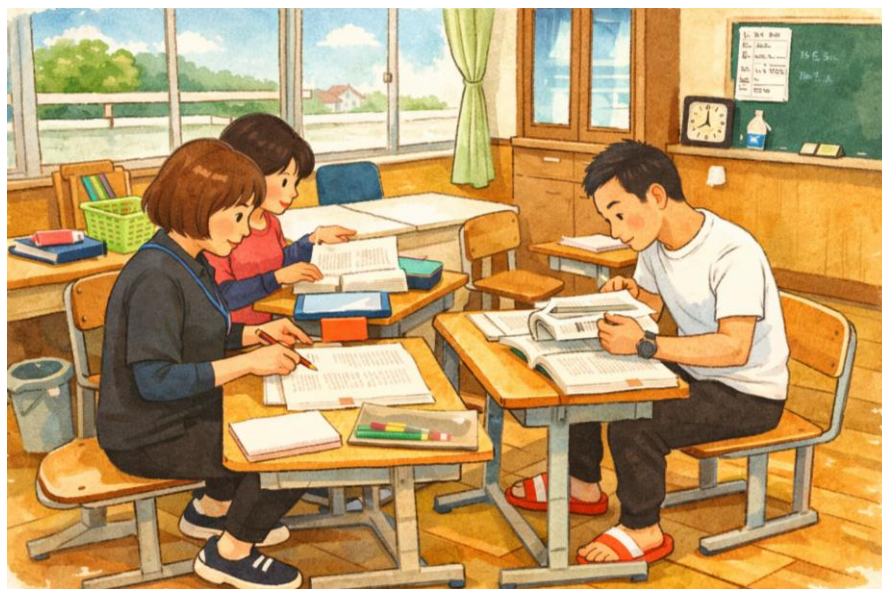
1. 本校の学校研究について【年間の研究スケジュール】

4月	5月		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
準備期間		実践期間①			改善期間		実践期間②			
4/4	5/19	5/29	6/26	7/25	夏休み中	9/25	10/6 計画訪問 研究協議	11/27	12/23	1/29
学校研究 について	指導要領 を読む会	単元計画 目標設定	授業実践	授業後の 評価検討	特教研	指定授業 授業把握	研究協議	研究協議 改善授業	改善提出	振り返り
	全体	学年・課程	学年・課程	学年	全体	学部	学部	学部	学年・課程	学年・課程

2. 今年度の取り組みについて【ねらいを明確にした授業を計画するための研修】

5月 学習指導要領を読む会

3～4人のグループで問題を解きました。（穴埋め問題、記述式など）



★各教科の目標や取り扱う内容を学習指導要領から読み取る。

★授業の計画時、学習指導要領のどこを見れば良いのかが分かる。

2. 今年度の取り組みについて【学年や課程で授業を計画し、実践する研修】



6～12月の研修の流れ

1

単元計画と目標設定

- 授業実践を行うグループを選出
- 単元計画と、対象となる児童生徒の目標を検討（3観点）



2

授業実践

- 6～7月に単元実施
- グループの教員が参観



3

振り返りと個別評価

- 単元の組み立て、発問、教材などを振り返り
- 対象となる児童生徒の評価を検討（3観点）



4

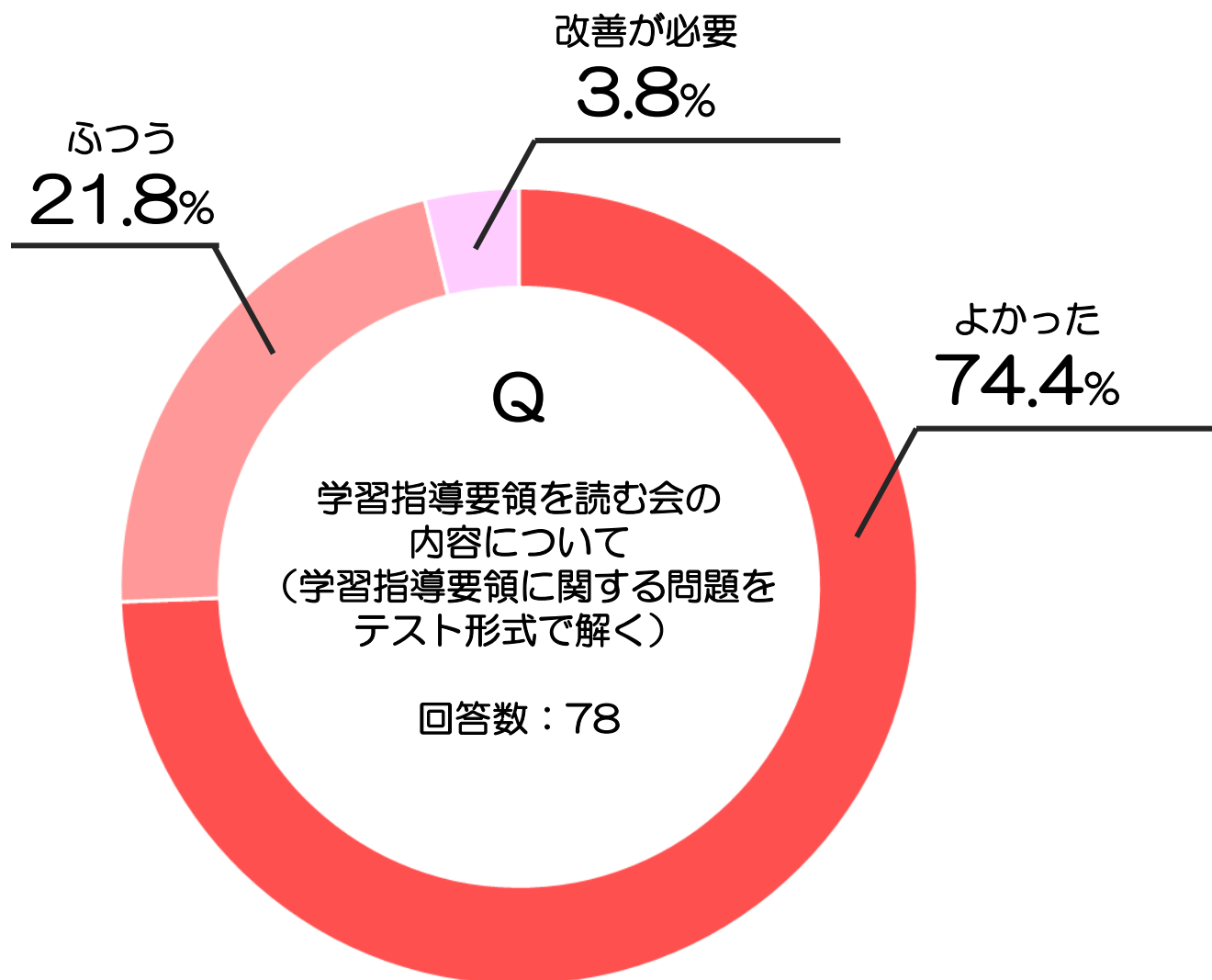
次の単元で実践

- 振り返った内容を基に、次の単元計画を作成

→計画訪問で実施



2. 今年度の取り組みについて【職員へのアンケート結果】



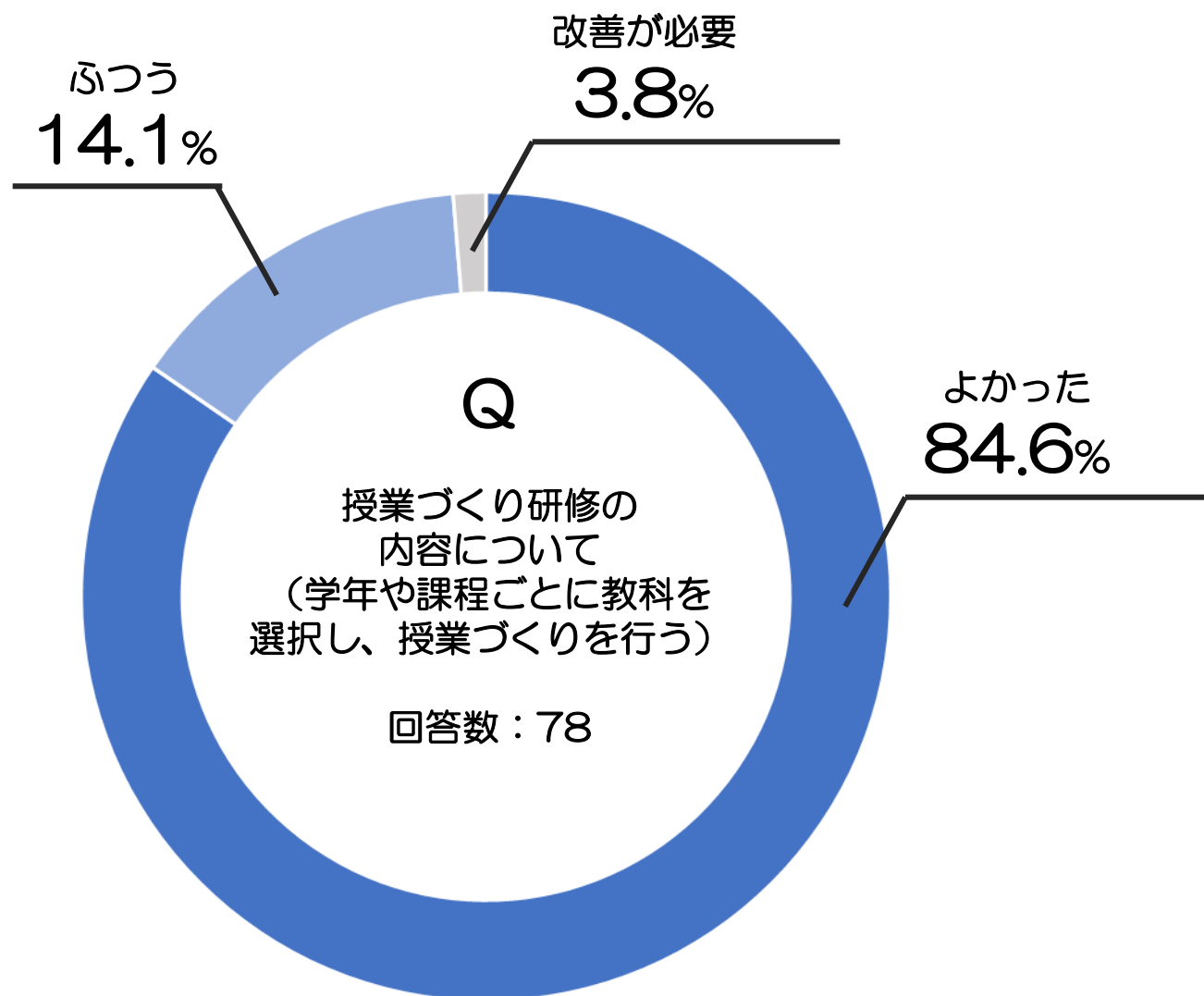
○初心に戻った。学習指導要領の読み込みは**定期的にやっても良い**と思った。

○担当していない教科や学部について、そのページの学習指導要領を読む時間は**自分ではなかなか取れない**ので、今回は良い機会になった。

○研修として取り上げていただけたのはとても良かった。

△（グループ構成に関して）**学年で読めると即効性**のあるものになるのかなと思った。

2. 今年度の取り組みについて【職員へのアンケート結果】



○学年単位で研修できたことで、**実態を踏まえた授業づくり、意見交換**をたくさんすることができた。

○実態把握から目標設定など、**他の先生方の見方を聞いて学びになる**ことが多かった。

○**観点別の目標設定のポイント**を学年間で確認できた。

○たくさんの先生方から意見をいただいたおかげで、気づきがあった。

3. 成果と課題【成果】



ねらいが明確になった授業

学習指導要領や年間指導計画を基に
目標が立てられており、授業をする上で
ねらいがふれにくくなった。
教科の見方・考え方を意識した授業や、
個別の指導計画にもつながっている。



「気付き」を大切にした働きかけ

児童生徒が「気付く」ためには、
・どのような活動が良いか
・どのような言葉かけが良いか
・何を考えさせるか
を意識した授業が見られるようになってきた。



体験的な活動の大切さ

単元計画の中で、「学びに向かう力」を
評価する場面として、体験的な活動を
取り入れる場面が増えた。
机上だけではない学習場面が増えている。

3. 成果と課題【課題 次年度に向けて】



児童生徒が主体的に取り組む授業構成

授業の中で、特に知識や技能を身に付けるための時間は児童生徒が受け身になりがちであった。

- ・「学びたい」と思わせる展開の工夫
- ・思わずやりたくなる教材の工夫が必要である。



学んだことを深めていく工夫

授業づくりにおいて、

- ・児童生徒の実態を的確に把握した集団の構成
- ・効果的なICTの活用
- ・教師の意図的な働きかけ

を意識することにより、児童生徒が学んだことを深めることができると考えられる。

今後の授業づくりの際に意識していけるよう、研修を行っていく。